

チシマゼキショウ

Tofieldia coccinea Richards, var. *coccinea*
チシマゼキショウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県では温帯上部から亜高山帯の岩上に生育している。生育地の確認も1地区で、絶滅が危惧されるので、今回新たに県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

北海道、本州、四国に分布する。県内では大野市で確認されている。

種の特徴

高山帯や寒地に生える。根出葉は線状鎌形で長さ3～8cm、縁に細かい突起がある。花茎は高さ5～15cm、1～2個の小型の葉がある。7～8月、花茎の頂に短い総状花序が付く。白色またはかすかに紫色を帯びる。蒴果は球形で、斜め下向きに付き、種子に尾がない。

生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取、自然遷移。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

アギナシ

Sagittaria aginashi Makino
オモダカ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

絶滅危惧Ⅱ類とされた前回調査では県内5市町で生育が確認された。今回調査でも敦賀市で生育が確認されているので、引き続き県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では若狭町、敦賀市、坂井市、勝山市、大野市、福井市に分布が認められている。

種の特徴

水田、農業水路やため池に生える抽水性～湿生のオモダカ属多年草。オモダカに似るが、成葉の側裂片先端部が丸みを帯びること、土中に匍枝をださないことで判別できる。オモダカが現在も水田の強害雑草であるのに対して、本種は減少がいちじるしい。

生育を脅かす要因

農業用水路の改変や消失および水田耕種作業の変化が生息を脅かす主要因である。

参考文献

矢原徹一・永田芳男（2003）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○					○				○	○	○

クロモ

Hydrilla verticillata (L.f.) Royle
トチカガミ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

水質汚濁や外来種のコカナダモ、オオカナダモとの競合により激減している。

分 布

北海道～琉球に分布。県内一円で確認されている。

種の特徴

流水中や沼に生える沈水性の多年草。茎は長く伸び、節に2～6個の葉を輪生する。雌雄異株で花期は8～10月。

生育を脅かす要因

水質汚濁、外来種との競合。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○							○	○		○	○	○	○